

# 小型電磁力発電機を販売へ

## テクノス 東海地区の代理店に

金融機関向けのセキュリティ機器などを取り扱うテクノス(本社尾張旭市大塚町、森蔭真人社長、電話052・760・3360)は、小型電磁力発電機の販売に乗り出す。磁力を用いて発電し、バッテリーに蓄電するシンプルなシステムながら、24時間停止することなく発電できるのが特徴。電磁方式の発電装置は珍しい。来年1月には拡販用のデモ装置の準備が整う。まずは電飾看板や機械装置の補助電源、非常用発電などに提案する。(尾張旭・小島圭司)

## コードレス電源など提案

小型電磁力発電機は、発「ポニズムライフィノベーション」が開発した。電装置などを製造するシャ「ジョン(福岡市)」が開発した。

特許も申請している。

同機は、駆

動装置と発電

装置、電気を

循環させる回

路装置、バッ

テリーなどを

組み合わせて

いる。基本的

には、駆動装

置のモーター

で発電機を回

して電気を起

こし、バッテ

リーに電気を

ためる仕組み



森蔭真人社長

特徴のひとつは、駆動装置に放電用と蓄電用のバッテリーを併設している点だ。放電用バッテリーでモ

代電池のナノカーボンバッテリーの活用、コイルや磁石が発熱して故障しないように過充電を防ぐなどの工夫を施している。

テクノスは新規事業として、電磁力発電機を取り扱う東海地方の販売代理店を引き受けた。同社が発電機の実証実験を行ったところ、装置を停止させるまでの1週間、電飾看板に電気を供給し続けたという。

用途に合わせて装置を設計するため、電飾看板のコードレス電源、家電製品や機械装置などに組み込んで補助電源としても使用できる。

森蔭社長は「新技術のため、まずは用途開発が必要になる。さまざま分野で提案していきたい」と話している。

小型電磁力発電機の実験装置

